

令和3年3月19日

井原市長 大 舌 勲 殿

井原市議会議長 坊 野 公 治



### 稲倉産業団地開発事業に関する提言書

井原市議会では、地域活性化特別委員会を設け「稲倉産業団地開発事業」に関する調査・研究を行ってきた。

平成27年2月井原市議会建設水道委員会の「企業誘致について（所管事務調査報告書）」の調査結果に記されている、四季が丘団地企業用地への誘致については長年の懸案事項であったが、企業側の希望を受け昨年3月から交渉し、企業進出が決定した。また、山王地区においても民間企業による大規模な造成工事が進められている。

こうした中、平成29年からレディーメイド方式で取り組む「稲倉産業団地」の開発は、用地買収に時間を要したものの、令和元年4月に造成工事に着手し、令和3年12月の完成を目指して、現在急ピッチで工事が進められており、完成を待たずに、早急な誘致活動が必要と考える。

誘致に向けた対策として、井原市工業振興条例等に規定している奨励金、助成金制度を見直し、立地企業にとって真に魅力ある優遇制度とする必要がある。

また、人脈や経験が豊かな民間の企業誘致責任者と連携した推進体制の強化が必要と考える。さらに、専門性を持った市職員を育てることが大変重要だと考える。

笠岡インターや篠坂パーキングエリアのスマートインター化計画も視野に入れ、アクセスの良さ、災害の少なさなどの「稲倉産業団地」の優位性を存分にアピールする誘致活動を展開することが必要不可欠となる。

今後のコロナ禍などによる経済の動向を見据え、柔軟にニーズに対応していく姿勢も必要と考える。

以上、企業誘致政策に活かされるよう期待し提言する。

# 稲倉産業団地開発事業に関する調査報告書

井原市議会地域活性化特別委員会

## 目 次

1. はじめに	1
2. 活動概要	2
3. 稲倉産業団地開発に係る「企業立地ニーズ調査票」のまとめ	4
4. 委員間討議のまとめ	7
5. 委員会行政視察報告書	9
6. あとがき	12
7. 資料	
・所管事務調査事項	13
・稲倉産業団地開発に関する資料	15
・企業誘致施策の比較に関する資料	18

## 1. はじめに

現在国内において、人口減少、少子高齢化が顕著になってきている。本市においても例外ではなく、人口減少、少子高齢化は進行し、年々、地域経済の地盤沈下が現実のものとなってきおり、企業誘致は地方自治体にとって重要な施策となっている。

本市においては、平成16年度に造成完了し、唯一の公的企業用地である四季が丘団地が売れておらず、長年、企業誘致ができていない。

市民から、産業団地開発、企業誘致を望む声が大きくなってきている中で、「稲倉産業団地」の開発が着手され、雇用促進、経済の活性化が期待される所である。

よって、本市議会としても、この「稲倉産業団地」について、当該場所へ開発することとなった経緯、用地買収等の開発手順を調査し、今後の本市の産業団地の順調な開発に繋がるよう調査・研究を行うこととした。

(令和元年9月24日)

## 2. 活動概要

- 第1回 令和元年9月24日
  - ・委員長、副委員長を互選により決定した。(委員長は推薦により西田久志委員、副委員長は推薦により山下憲雄委員)
  
- 第4回 令和2年1月20日
  - ・執行部から説明を受けることに決定。
  
- 第5回 令和2年2月10日
  - ・造成工事のスケジュール等について執行部から説明を受け、質疑応答を行った。
  
- 第6回 令和2年3月2日
  - ・今後の調査、研究事項を協議した。
  
- 第7回 令和2年3月17日
  - ・他市と比較しての井原市の施策の評価を行うこと、また、市内企業及び大手企業を訪問し、立地、移転の要因を聞き取り、最終的に提案書を作成することを決定した。
  
- 第8回 令和2年3月23日
  - ・企業訪問先を井原精機、タツモ、安原産業、サッポロビールに決定した。また、執行部へ資料(ターゲットの業種、企業立地までのスケジュール、市の支援制度)を依頼することを協議した。
  
- 第9回 令和2年5月12日
  - ・執行部の提出資料(ターゲットの業種、企業立地までのスケジュール、市の支援制度)について協議した。また、企業訪問調査に替えて郵送により調査を依頼すること、調査項目について協議した。
  
- 第10回 令和2年6月29日
  - ・企業から回答があった「企業立地ニーズ調査」結果を協議した。また、報告書に纏める事項について協議した。
  
- 第11回 令和2年7月31日
  - ・提案事項を協議した。

○第12回 令和2年8月12日

- ・調査項目、提言項目を協議した。また、稲倉地区への立地の経緯を執行部から説明を受けることに決定した。

○第13回 令和2年10月21日

- ・次の3項目について、執行部に質疑応答を行った。
  1. オーダーメイド方式による団地開発を議会としては提言していたが、どういった要因により、このたび稲倉地区へ開発することとしたのか。
  2. 当初計画から遅れた用地買収について、用地買収の推進体制に問題等無かったか。
  3. 平成30年7月豪雨の復旧に市内建設業者が手一杯の中で、造成に着手したことは、妥当であったか。

○第14回 令和2年11月16日

- ・報告書（案）を協議した。また、企業誘致先進地へ訪問調査することとした。

○行政視察 令和2年11月25日

- ・矢掛町を訪問し、矢掛町長から企業誘致の手法について説明を受けた。

○第15回 令和2年12月4日

- ・矢掛町への行政視察結果を報告した。また、前回からの修正後報告書（案）を協議した。

○第16回 令和2年12月14日

- ・前回からの修正後報告書（案）を協議した。

○第17回 令和2年12月22日

- ・前回からの修正後報告書（案）を協議した。

○第18回 令和3年1月14日

- ・前回からの修正後報告書（案）を協議し、報告書を取り纏めた。また、執行部に提言することとした。

### 3. 稲倉産業団地開発に係る「企業立地ニーズ調査票」のまとめ

実施：令和2年5月

対象：市内関連企業2社（機械、機械要素・部品）

市外企業1社（食料品）

※企業名、事業内容、従業員数については非公表とする

問4 貴社は井原市以外にも施設がありますが、どのような理由からですか。（〇は3つまで）

- ・生産規模の拡大
- ・新規事業の参入
- ・取引先・販売先対策
- ・人材確保
- ・その他（本社、生産、営業拠点）

問5 貴社が新設、拡張、移転（以下「新設等」とする。）を計画される場合には、いつ頃から検討されますか。

- ・3年前
- ・5年前

問6 貴社では、井原市内に新設等を検討されていますか。

- ・将来検討したい
- ・検討する予定はない

問7 貴社が新設等を検討される施設は、どのようなものが考えられますか。

- ・生産・製造工場
- ・物流施設

問8 貴社が新設等を検討されている場合の施設用地は、どの程度の面積を必要としていますか。

- ・1から3ha
- ・3から5ha

問9 現在、井原市では稲倉産業団地の造成を行っています。貴社では稲倉産業団地に、新設等を検討されますか。

- ・検討する予定はない

問10 貴社が新設等の立地する際に、重要視する要素はどのようなものですか。（〇は3つまで）

- ・高速道路等へのアクセスの良さ
- ・市場・取引先との近接性
- ・企業用地の価格
- ・用地面積の確保
- ・周辺インフラの整備状況
- ・人材・労働の確保
- ・従業員の通勤・住宅確保のしやすさ

問11 貴社が井原市で新設等の立地する場合、井原市にどのような支援制度及びサポート整備を希望されますか。（〇はいくつでも）

- ・立地用地の確保整備
- ・新規立地に対する補助金
- ・税制優遇・課税免除
- ・県・国の優遇措置の情報
- ・企業PR・情報発信支援
- ・その他（未定）

問12 その他、井原市の企業誘致への提案・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

※回答なし

稲倉産業団地開発に係る「企業立地ニーズ調査票」

問1 最初に貴社について教えてください。

貴社名	
ご担当者名	(所属・役職) (氏名)
ご連絡先	
ご連絡先Eメール	

問2 貴社の事業内容を教えてください。

[ ]

問3 貴社の従業員は何人ですか。

人(うち、国内 名、井原市内 名)

以下の質問は、該当する回答番号を○で囲んでください。

問4 貴社は井原市以外にも施設がありますが、どのような理由からですか。(○は3つまで)

- ①生産規模の拡大 ②新規事業の参入 ③取引先・販売先対策 ④業務技術の提携  
⑤生産性向上、コストダウン ⑥既存施設老朽化 ⑦拠点の集約 ⑧操業環境の改善  
⑨人材確保 ⑩その他( )

問5 貴社が新設、拡張、移転(以下「新設等」とする。)を計画される場合には、いつ頃から検討されますか。

- ①1年前 ②3年前 ③5年前 ④10年前 ⑤10年以上前

問6 貴社では、井原市内に新設等を検討されていますか。

- ①検討中である ②将来検討したい ③検討する予定はない

問7 貴社が新設等を検討される施設は、どのようなものが考えられますか。

- ①事務所(支社等) ②生産・製造工場 ③研究・開発施設 ④物流施設  
⑤その他( )

問8 貴社が新設等を検討されている場合の施設用地は、どの程度の面積を必要としていますか。

- ①1ha未満 ②1から3ha ③3から5ha ④10ha以上

問9 現在、井原市では稲倉産業団地の造成を行っています。貴社では稲倉産業団地に、新設等を検討されますか。

- ①検討する ②検討したい ③検討する予定はない

問10 貴社が新設等の立地する際に、重要視する要素はどのようなものですか。(○は3つまで)

- ①高速道路等へのアクセスの良さ ②市場・取引先との近接性 ③企業用地の価格  
④用地面積の確保 ⑤周辺インフラの整備状況 ⑥人材・労働の確保  
⑦従業員の通勤・住宅確保のしやすさ ⑧新規市場開拓の可能性  
⑨その他( )

問11 貴社が井原市で新設等の立地する場合、井原市にどのような支援制度及びサポート整備を希望されますか。(○はいくつでも)

- ①立地用地の確保整備 ②賃借用地の確保整備 ③新規立地に対する補助金  
④税制優遇・課税免除 ⑤県・国の優遇措置の情報 ⑥人材育成の支援  
⑦新規雇用に関する奨励金 ⑧人材確保・採用支援 ⑨産業間の連携促進  
⑩企業PR・情報発信支援 ⑪その他( )

問12 その他、井原市の企業誘致への提案・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

[ ]

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた情報につきましては、企業立地ニーズ調査のためであり、この目的以外に使用することはありません。また、この情報を第三者提供することはありません。

#### 4. 委員間討議のまとめ

○稲倉産業団地開発事業に関する各委員の意見や提案を整理した。

##### 1. 売り先企業へのセールスポイントに関する意見：

◇他市町と比較した強み弱みは何か。他市町に比べて突出した優位点を出すこと。

※企業立地優遇制度を見直すべき。(条例・要綱) /本市の優遇制度が立地企業にとって真に魅力ある制度となるよう、補助・融資制度全般を見直し、時代の変化に対応するものであるべき。

##### 2. 誘致企業の方向性に関する意見：

◇市内企業で関連性を求めるのは難しい。

◇コロナ禍により製造業は壊滅的であると報道にあった。こうした情報を検証する必要がある。

※アプローチの視点を変える。 /成長分野に加え、幅広い業種から、1社1社が力を持ったオンリーワン企業や大手企業から選ばれる中小企業など、将来性のある企業について誘致の可能性を探求するべき。

##### 3. 売り込み先企業への手法（アプローチ方法）に関する意見：

◇アンケートを行う企業数をもっと増やすべき。(矢掛町、笠岡市など)

◇企業側の考え（ニーズ）を熟知する必要がある。

◇誘致前後のインフラ整備。土地の価格のあり方。オーダーメイド方式が話を進めやすいように思う。

※新たな建設用地の提供方法を検討する。 /1社1社の希望に添った用地提供など、戦略性のある工場等建設用地の提供方法を検討する。

##### 4. 人材確保への意見：

◇企業にとって人材確保は重要だ。

※教育の充実と企業が求める人材を育成する。 /市内高等教育機関が研究拠点となるよう支援するとともに、中小企業の求める人材を育成し、井原市のイメージアップを図る必要がある。

##### 5. 推進体制に関する意見：

◇営業力の強化が必要だ。行政と国や県の行政窓口はもちろんだが、行政と企業の窓口がないのはいけない。

◇チームとしてどのように立地を進めていくか。

※企業誘致業務は的確な情報分析による戦略的体制のもと、行政と行政、行政と企業及び企業と企業の連携強化のもと取り組む必要がある。

6. 近隣市町の立地企業アンケート調査への意見：

◇企業ニーズをもっと熟知する必要がある。

◇企業アンケートは報告提案の重みになる。

※近隣市町への立地企業へのアンケート調査を実施する。

## 5. 委員会行政視察報告書

令和2年12月3日提出

井原市議会議長 坊野 公 治 様

報告者 地域活性化特別委員会

委員 妹尾 文 彦

委員 多賀 信 祥

委員 藤原 浩 司

委員 簀戸 利 昭

期 間	令和2年11月25日(水)
出張先及び 担当職員 職名・氏名	小田郡矢掛町 議長：土田正雄、副議長：川上淳司、議会議務局長：守屋裕文 町長：山野道彦
出張者氏名	委員：妹尾文彦、多賀信祥、藤原浩司、簀戸利昭
調査項目	矢掛町の企業誘致手法について
(概要)	
	別紙のとおり
(所感)	
	別紙のとおり

1. 報告書は、視察・研修終了後1カ月以内に提出してください。
2. 概要、所感については、別紙を添付してください。
3. 所感には、1行目の右端に委員名を記載してください。

## 地域活性化特別委員会視察研修 概要

日 時 令和2年11月25日（水）10時05分から11時45分  
矢掛町役場3階 全員協議会室

### 1. 目的

井原市では、現在、稲倉産業団地を開発している。早期の企業立地に向け、企業立地の実績がある近隣自治体の行政視察を実施する。

### 2. 質疑事項

- ①企業立地に向けた組織づくりはどのようにされているか。
  - ・土地開発公社で販売している。
  - ・土地開発公社は、執行部と議員、担当課の職員3名で組織している。
  - ・担当課は企業誘致に関係する課が受け持っている。
- ②立地希望のある企業の情報収集はどのようにしているか
  - ・約40年のオーダーメイドでの取り組みにより、現状は口コミで問い合わせがある状況。
- ③立地企業へのアプローチ方法はどのようにしているか。
  - ・本社、事務所の誘致を希望する相手先には出向いて交渉する。
  - ・実情は本社機能や事務所移転は困難である。
- ④オーダーメイド方式により企業誘致に成功されているが、一方でオーダーメイド方式の課題はあるか。
  - ・立地場所の適地決定
  - ・農地転用
  - ・相手先から出される条件のクリアなど
- ⑤産業団地開発について、どのように考えているか。
  - ・道路を整備する際に、道路の両側が使用可能となるなどの効率的な開発が必要である。
  - ・水道や道路といったインフラ整備に費用がかかるため、土地利用計画の中で2次開発も含めた計画をする必要がある。
- ⑥企業立地後、当該企業とはどのような関係を保っているか。
  - ・本社機能、事務所の誘致が難しく、工場や支店・支所のため関りを持ちにくい。
- ⑦矢掛町に企業が立地することになった「決め手」は何であったと考えるか。
  - ・熱意、執念
  - ・人材（公務員気質ではできない。）
- ⑧企業誘致全般で失敗した事例はありますか。

- ・戦略会議なしで、係長クラスの職員と地元の人とで交渉に行ったことで、誘致が困難になった。
- ・職員の対応の悪さにより交渉が難航した事例がある。

<その他意見>

- 団地整備とオーダーメイドでは、団地整備が理想である。
- オーダーメイドの苦労はかなり大きい。
- どの自治体も企業誘致を行っているが、優位性や決め手はどの自治体も持っていない。
- 水の確保を重要視される企業が多い。また、浸水想定区域を希望される企業もある。
- 特定企業に対して水道工事を行うことはない。
- 矢掛町のターゲットは、倉敷市で適地が見つからない企業である。井原市であれば、福山市や笠岡市で適地を探している企業が相手になるのではないか。
- 企業誘致には5年程度かかる。
- 雇用については、協定書において町民優先の雇用をうたっているが、実際はどの企業においても5割程度しか実現していない。

## 6. あとがき

平成27年2月井原市議会建設水道委員会の「企業誘致について（所管事務調査報告書）」の調査結果に記されている、四季が丘団地企業用地への誘致については長年の懸案事項であったが、企業側の希望を受け昨年3月から交渉し、企業進出が決定した。また、山王地区においては民間企業による大規模な造成工事が進められている。

そうした中、平成29年からレディーメイド方式で取り組んだ「稲倉産業団地」開発においては、用地買収に時間を要したものの、令和元年4月から造成工事着手している。工事は令和3年12月完成を目指し、現在工事が急ピッチに進められている。

完成を待たず、早急な誘致活動が必要と考える。

誘致に向けた対策として、井原市工業振興条例等に規定している、

- 事業所設置奨励金
- 雇用奨励金
- 周辺整備促進助成金
- 井原市企業立地促進奨励金
- 井原市本社機能移転促進補助金

等が利用できることを、オファーのあった企業へ積極的に働きかけることも必要である。

さらには、人脈、経験豊かな民間の企業誘致の専任者と連携した推進体制の強化が必要と考える。また、専門性を持った市職員を育てることも大変重要だと考える。今後、笠岡インターや篠坂パーキングエリアのスマートインター化計画も視野に入れ、アクセスの良さ、災害の少なさなどの「稲倉産業団地」の優位性を存分にアピールする誘致活動を展開することが必要不可欠となる。

令和3年1月

井原市議会地域活性化特別委員会

委員長	西田 久志	副委員長	山下 憲雄	委員	妹尾 文彦
委員	多賀 信祥	委員	柳原 英子	委員	細羽 敏彦
委員	藤原 浩司	委員	上野 安是	委員	簀戸 利昭

7. 資料

地域活性化特別委員会 調査事項

調査事項	稲倉産業団地開発事業について
調査の目的	井原市の地域活性化策について調査、研究を行うため、稲倉産業団地開発事業について現状を把握するものである。
調査の方法	特別委員会において質疑
調査期間	特別委員会開催日（令和2年2月10日）
その他	<p>執行部への質疑事項</p> <p>(1) 稲倉産業団地造成工事のスケジュールについて</p> <p>(2) 県道及び市道からの進入路整備のスケジュールについて</p> <p>(3) 当該事業に係る工事発注の方向性について          ※市内事業者の取り扱いについて</p> <p>(4) 企業立地の道筋について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の活動、今後の進め方</li> <li>・ターゲットとする職種</li> <li>・地元事業者の誘致</li> <li>・誘致の戦略及び行動計画</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>執行部に対する要求資料</p> <p>造成工事及び進入路整備のスケジュール表</p>

地域活性化特別委員会 調査事項

調査事項	「稲倉産業団地開発事業」の開発経緯等
調査の目的	開発地として、当該地を選定した理由とプロセス 用地買収が遅れた要因と改善点 造成工事の着手時期の妥当性
調査の方法	特別委員会において質疑
調査期間	特別委員会開催日（令和2年10月21日）
その他	<p>執行部への質疑事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オーダーメイド方式による団地開発を議会としては提言していたが、どういった要因により、このたび稲倉地区へ開発することとしたのか。</li> <li>2. 当初計画から遅れた用地買収について、用地買収の推進体制に問題等無かったか。</li> <li>3. 平成30年7月豪雨の復旧に市内建設業者が手一杯の中で、造成に着手したことは、妥当であったか。</li> </ol>
	<p>執行部に対する要求資料</p> <p>なし</p>

◆ 稲倉産業団地開発の事業概要

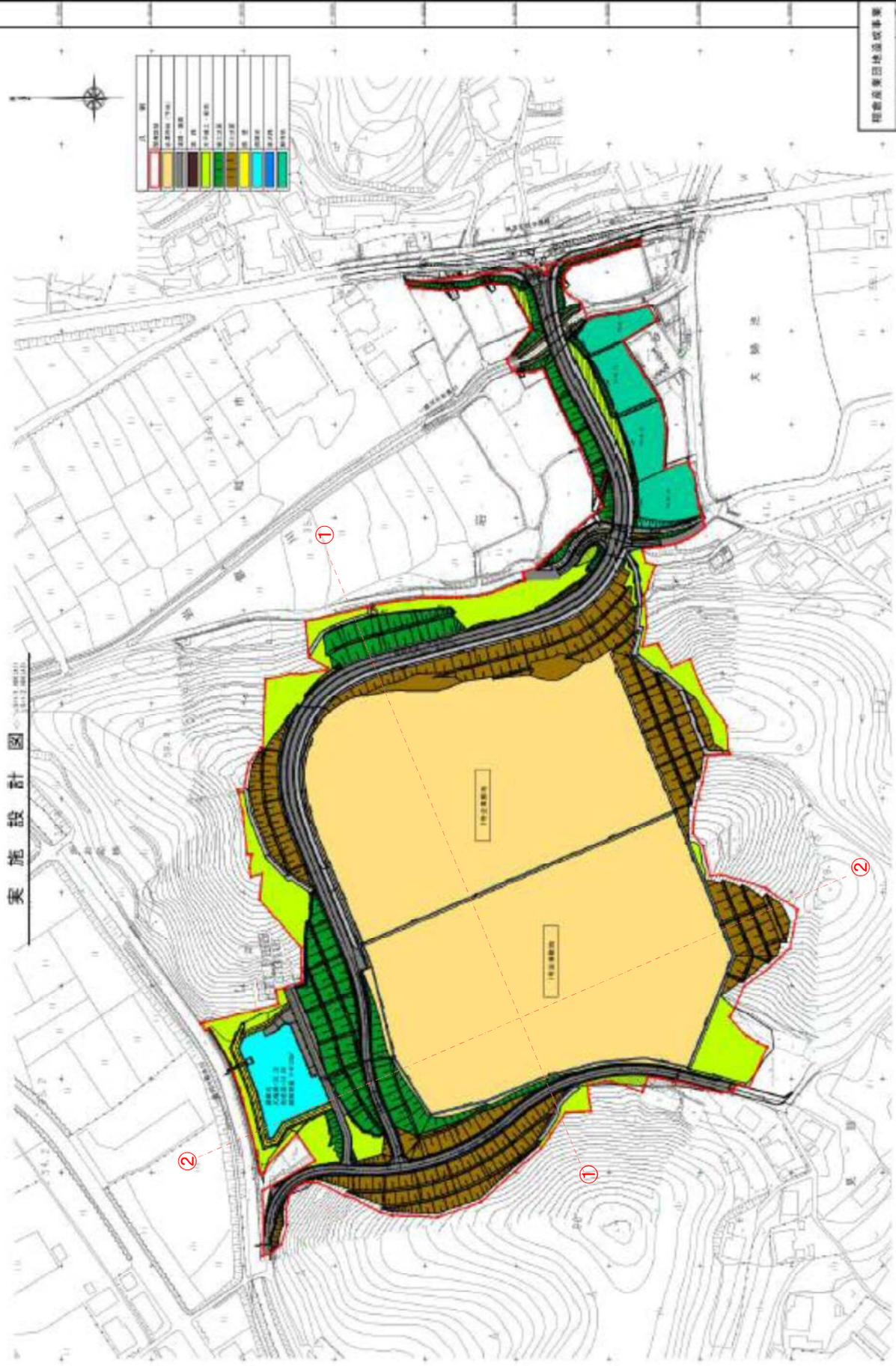
事業概要	
開発区域面積	約8.5ヘクタール ○産業団地：約5.5ヘクタール ○道路：約3.0ヘクタール ・ 進入道路（市道稲倉産業団地線） 延長：約620m 幅員：9.5～5.0m ・ 西側道路（市道兼保見詰1号南線） 延長：約320m、幅員：5.0m
平地面積	約4.0ヘクタール
事業費	○産業団地：約12.2億円 ○道路：約4.0億円 〔工事費：約8.0億円（水道含む） 用地補償費：約3.5億円 委託料：約0.7億円 市道稲倉産業団地線：約2.8億円 市道兼保見詰1号南線：約1.2億円〕
地権者等	地権者：64人、筆数：152筆、用地面積：74,975㎡、建物移転：2件

◆ 工事スケジュール（案）

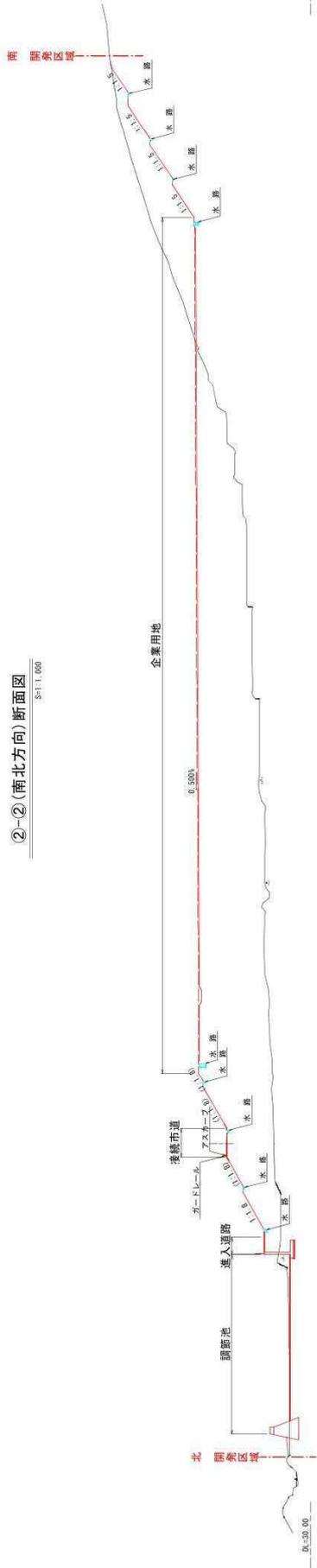
区分	2019年度			2020年度												2021年度		
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
◆ 団地造成工事	●																	
・ 仮設工（仮設道・仮橋設置）																		
・ 調整池工																		
・ 団地造成工																		
・ 上水道工																		
・ 確定測量																		
◆ 市道稲倉産業団地線																		
・ 道路築造工																		
・ 管渠工（岩倉川）																		
・ 舗装・安全施設工																		
◆ 市道兼保見詰1号南線																		
・ 道路築造工																		
・ 舗装・安全施設工																		

圖例	說明
[Red]	紅線範圍內
[Green]	綠化帶
[Yellow]	黃化帶
[Orange]	橙化帶
[Brown]	棕化帶
[Blue]	藍化帶
[Grey]	灰化帶
[Black]	黑化帶
[White]	白化帶
[Light Blue]	淺藍色帶
[Light Green]	淺綠色帶
[Light Yellow]	淺黃色帶
[Light Orange]	淺橙色帶
[Light Brown]	淺棕色帶
[Light Grey]	淺灰色帶
[Light White]	淺白色帶

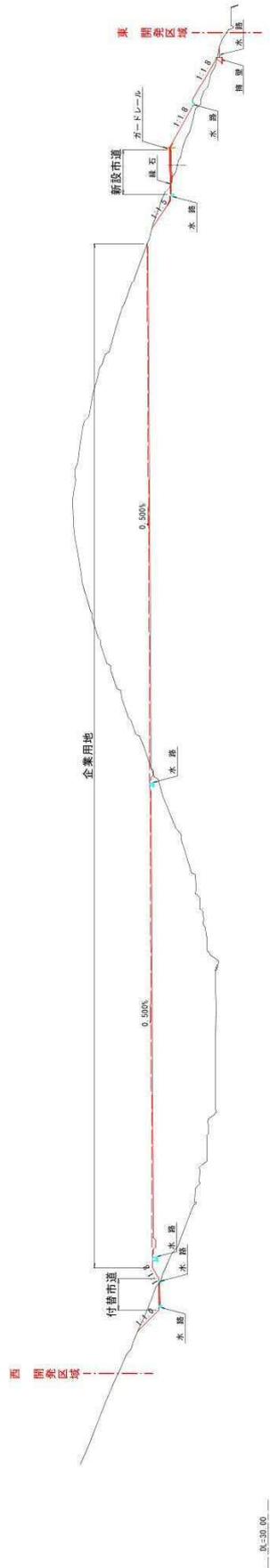
實施設計圖



②-②(南北方向)断面図  
S=1:1,000



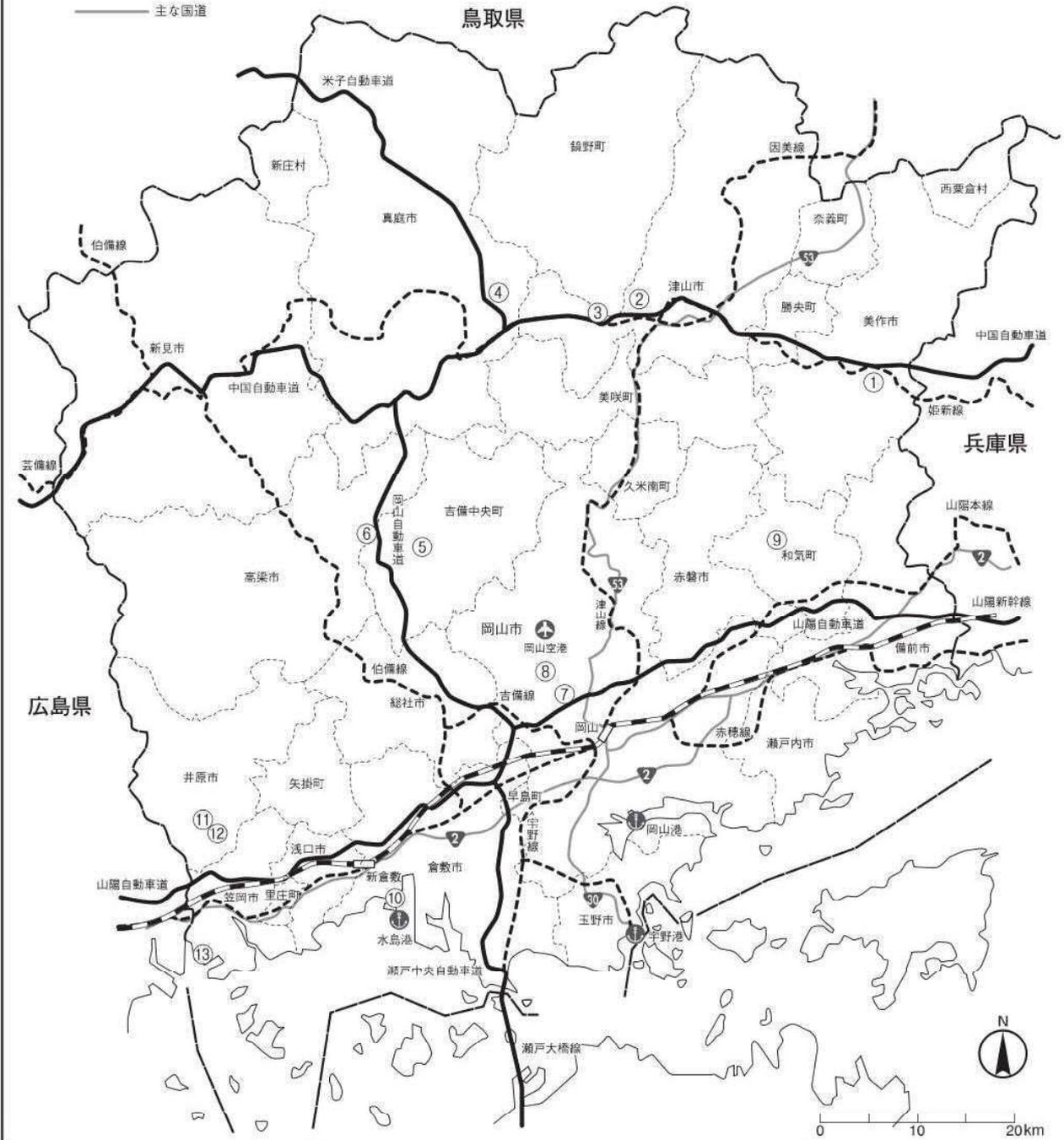
①-①(東西方向)断面図  
S=1:1,000



# 岡山県

- ① 美作市・作東産業団地
- ② 津山産業・流通センター
- ③ 久米産業団地
- ④ 真庭産業団地
- ⑤ 吉備高原都市産業区
- ⑥ 有漢団地
- ⑦ 岡山リサーチパーク
- ⑧ 空港南産業団地
- ⑨ 矢田団地
- ⑩ 水島港玉島地区(玉島ハーバーアイランド)
- ⑪ 四季が丘団地
- ⑫ 稲倉産業団地
- ⑬ 笠岡港(港町地区)工業用地

——— 新幹線  
 - - - JR線  
 = 高速道路  
 — 主な国道



用地名	1.美作市・作東産業団地	2.津山産業・流通センター	3.久米産業団地	4.真庭産業団地
所在地	美作市竹田・上福原	津山市戸島・上田邑・下田邑・苔田郡鏡野町布原・沖	津山市くめ	真庭市中原・目木・上河内
事業主体	美作市土地開発公社	津山市	岡山県	岡山県
面積	全体計画:66.6ha 分譲対象:34ha 分譲可能:0.35ha 分譲中/造成済	全体計画:93.2ha 分譲対象:50.65ha 分譲可能:2.99ha 分譲中/造成済	全体計画:58.1ha 分譲対象:38.2ha 分譲可能:9.1ha 分譲中/造成済	全体計画:90ha 分譲対象:34ha 分譲可能:2.47ha 分譲中/造成済
対象施設	工場、流通施設、研究所	工場、流通施設、研究所	工場、流通施設、研究所	工場、流通施設、研究所
交通アクセス	道路	中国自動車道 作東 IC 1.8 km 国道 179 号 0.5 km	中国自動車道 院庄 IC 2 km 国道 179 号 0.5 km	中国自動車道 院庄 IC 2 km 国道 181 号 0.3 km
	鉄道	山陽新幹線 相生駅 40 km JR 姫新線 美作江見駅 3 km	山陽新幹線 岡山駅 60 km JR 姫新線・津山線 津山駅 6.5 km	山陽新幹線 岡山駅 94 km JR 姫新線 美作千代駅 1.5 km
	空港	岡山空港 65 km	岡山空港 55 km	岡山空港 56 km
	港湾	水島港 108.5 km	水島港 99.2 km	水島港 100.2 km
都市計画用途地域	都市計画区域外	非線引 工業地域	都市計画区域(非線引)	都市計画区域(非線引)
用水	工業用水:供用不可 上水道:800t/日 地下水:不明	工業用水:供用不可 上水道:800t/日 地下水:不明	工業用水:1400t/日 上水道:970t/日 地下水:不明	工業用水:供用不可 上水道:310t/日 地下水:不明
排水	公共下水道に接続 企業内処理必要	公共下水道に接続 企業内処理必要	公共下水道に接続 企業内処理必要	公共下水道に接続 企業内処理必要
電力	高圧:6600V 特別高圧:22000V 変電所 団地内	高圧:6600V 特別高圧:66000V 古川変電所 1 km	高圧:6600V 特別高圧:66000V 古川変電所 1 km	高圧:6600V 特別高圧:22000V 変電所不明
ガス	LP ガス	LP ガス	LP ガス	LP ガス
譲渡単価	12400 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	17600~23700 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	9000~9900 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	7400~8600 円/㎡ 造成後価格 価格は目安
賃貸区分	賃貸不可	応相談	応相談 14~16 円/㎡/月 価格は目安	応相談 12~14 円/㎡/月 価格は目安
連絡先	美作市 経済部 産業振興課 ☎0868-72-6695	津山市 産業経済部 企業立地課 ☎0868-32-2083	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389
用地名	5.吉備高原都市産業区	6.有漢団地	7.岡山市リサーチパーク	8.空港南産業団地
所在地	加賀郡吉備中央町湯山	高梁市有漢町有漢	岡山市北区芳賀・富吉	岡山市北区富吉
事業主体	岡山県	高梁市	岡山県	岡山県・岡山市
面積	全体計画:14.5ha 分譲対象:14.5ha 分譲可能:2.51ha 分譲中/造成済	全体計画:1.6ha 分譲対象:1.37ha 分譲可能:1.37ha 平成 30 年分譲開始予定/造成中	全体計画:51.3ha 分譲対象:11.1ha 分譲可能:1.39ha 分譲中/造成済	全体計画:27ha 分譲対象:12.05ha 分譲可能:12.05ha 平成 30 年分譲開始予定/未造成
対象施設	工場、流通施設、研究所	工場、流通施設、研究所	研究所	工場、流通施設、データセンター
交通アクセス	道路	岡山自動車道 賀陽 IC 10 km 国道 484 号 2 km	岡山自動車道 有漢 IC 4 km 国道 313 号 1 km	山陽自動車道 岡山 IC 4 km 国道 53 号 4 km
	鉄道	山陽新幹線 岡山駅 36 km JR 伯備線 備中高梁駅 28 km	山陽新幹線 岡山駅 56 km JR 伯備線 備中高梁駅 13 km	山陽新幹線 JR 山陽本線 岡山駅 12 km
	空港	岡山空港 21 km	岡山空港 53 km	岡山空港 6 km
	港湾	水島港 59.2 km	水島港 64 km	水島港 36.4 km
都市計画用途地域	非線引 準工業地域	都市計画区域外	市街化調整区域	市街化調整区域 地区計画あり
用水	工業用水:供用不可 上水道:294t/日 地下水:不明	工業用水:供用不可 上水道:50t/日 地下水:不明	工業用水:未定 上水道:500t/日 地下水:不明	工業用水:供用不可 上水道:250t/日 地下水:不明
排水	公共下水道に接続 企業内処理必要	公共下水道に未接続 企業内処理必要	公共下水道に接続 企業内処理必要	不明
電力	高圧:6600V 特別高圧:66000V 賀陽変電所 4 km	高圧:6600V 特別高圧:22000V 有漢変電所 2 km	高圧:6600V 特別高圧:22000V 富吉変電所 隣接	高圧:6600V 特別高圧:22000V・110000V 岡山変電所 0.5 km
ガス	LP ガス	LP ガス	都市ガス	不明
譲渡単価	8400~8800 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	造成後価格 価格未定	30500~31700 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	造成後価格 価格未定
賃貸区分	応相談 13~14 円/㎡/月 価格は目安	賃貸不可	応相談 46~48 円/㎡/月 価格は目安	未定
連絡先	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389	高梁市 産業経済部 産業観光課 ☎0866-21-0229	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389

用地名	9.矢田団地	10.水島港玉島地区(玉島A-1-7(ラ))	11.四季が丘団地	12.稲倉産業団地
所在地	和気郡和気町矢田	倉敷市玉島乙島	井原市上出部町四季が丘	井原市下稲木町・岩倉町
事業主体	和気町	岡山県	井原市土地開発公社	井原市
面積	全体計画:3.9ha 分譲対象:2.8ha 分譲可能:2.7ha 平成32年分譲開始予定/造成中	全体計画:245ha 分譲対象:89.05ha 分譲可能:7.99ha 分譲中/一部造成中	全体計画:35.5ha 分譲対象:2.38ha 分譲可能:2.38ha 分譲中/造成済	全体計画:6.4ha 分譲対象:4ha 分譲可能:4ha 平成32年分譲開始予定/造成中
対象施設	工場	工場	工場、流通施設、研究所	工場、流通施設
交通アクセス	道路	美作岡山道路 佐伯 IC 5 km 国道 374 号 隣接	山陽自動車道 玉島 IC 11 km 国道 2 号 7 km	山陽自動車道 笠岡 IC 9 km 国道 486 号 2.5 km
	鉄道	山陽新幹線 岡山駅 32 km JR 山陽本線 和気駅 10 km	山陽新幹線・JR 山陽本線 新倉敷駅 8 km	山陽新幹線 福山駅 20 km 井原鉄道井原線 井原駅 3 km
	空港	岡山空港 32 km	岡山空港 47 km	岡山空港 53 km
	港湾	水島港 54 km	水島港 隣接	福山港 24 km
都市計画用途地域	都市計画区域外	市街化区域 工業専用地域	都市計画区域(非線引)	都市計画区域(非線引)
用水	工業用水:供給不可 上水道:100t/日 地下水:不明	工業用水:3000t/日 上水道:4800t/日 地下水:不明	工業用水:供用不可 上水道:90t/日 地下水:供用不可	工業用水:供用不可 上水道:未定 地下水:未定
排水	公共下水道に未接続 企業内処理必要	公共下水道に未接続 企業内処理必要	公共下水道に接続 企業内処理必要	公共下水道に接続 企業内処理必要
電力	高圧:6600V 特別高圧:供給不可 変電所不明	高圧:6600V 特別高圧:22000V 玉島発電所 3 km	高圧:6600V 特別高圧:供給不可 出部変電所 5 km	高圧:6600V 特別高圧:共用不可 出部変電所 5 km
ガス	LP ガス	LP ガス	LP ガス	LP ガス
譲渡単価	造成後価格 価格未定	16200 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	16400 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	造成後価格 価格未定
賃貸区分	賃貸不可	賃貸不可	賃貸不可	未定
連絡先	和気町 総務部 まち経営課 ☎0869-92-4589	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389	井原市 建設経済部 地域創生課 ☎0866-88-0050	井原市 未来創造部 企業誘致課 ☎0866-88-0050

用地名	13.笠岡港(港町地区)工業用地	
所在地	笠岡市港町	
事業主体	岡山県	
面積	全体計画:42.2ha 分譲対象:28.9ha 分譲可能:16.49ha 分譲中/造成済	
対象施設	工場、流通施設	
交通アクセス	道路	山陽自動車道 笠岡 IC 10 km 国道 2 号 6 km
	鉄道	山陽新幹線 福山駅 15 km JR 山陽本線 笠岡駅 7 km
	空港	岡山空港 70 km
	港湾	笠岡港 隣接
都市計画用途地域	市街化区域 準工業地域	
用水	工業用水:12000t/日 上水道:2000t/日 地下水:不明	
排水	公共下水道に未接続 企業内処理必要	
電力	高圧:6600V 特別高圧:22000V 茂平変電所 2.8 km	
ガス	LP ガス	
譲渡単価	10900~13100 円/㎡ 造成後価格 価格は目安	
賃貸区分	賃貸不可	
連絡先	岡山県 産業労働部 企業誘致・投資促進課 ☎086-226-7374・7389	